

サロン・ラクーガ 美術館巡りの報告

サロン・ラクーガでは、今年度の美術館巡りを行いましたので、その状況を報告致します。

- <月日> 2018年2月27日(火)
<場所> 新光苑美術館(熊谷市)
熊谷市さくら運動公園の隣
<参加者> 10名
<美術館巡り>



熊谷さくら運動公園駐車場に集合。
開館まで、展覧会の相談。



新光苑美術館



社会福祉法人 翠浩会 障害者支援施設 新光苑
主管/新光苑美術愛好会

〒360-0832 埼玉県熊谷市小島527番地
Tel 048-532-0665 Fax 048-532-7794

入館券

- 見学時間 午前の部 10時～12時
午後の部 1時30分～3時
閉館30分前までに入館下さい。
- 休館日 日曜日
お盆休み 8月14・15・16日
年末年始 12月30日～1月3日
- 入館料 500円
※小学生以下は入館できません。
- 土・祝日及び10名以上の団体は予約制
メールにて3日前までに午前か午後の予約
人数をお申し込み下さい。こちらから返信
のメールを致しますので、ご確認下さい。
Mail: biju@shinkoen.net

パンフレットでの新光苑美術館の説明は、以下の様なものです。

新光苑美術館のご案内

美術館開館の趣旨

新光苑は、平成元年身体障害者療護施設として開苑し、本年で満25年を迎えます。

しかし、障害者施設というと、どうしても一般の皆様との交流が生まれにくいのが現状です。この事は本苑だけでなく全ての施設共通の悩みです。

この度入所支援棟40室の増設に当たり創設者西田良次苑長の強い要請により設計段階から絵画の展示空間を考え「障害者施設内美術館」としてオープンしました。地域交流の輪を広めると共に文化の発展に寄与出来ることを願っております。

館内は全て床暖房で、広い廊下の吹き抜けから明るい自然光が差し込み、照明のいらぬ絵画の鑑賞ができます。

新光苑美術館は、平成 26 年 5 月に開館した新しい美術館との事です。

一般的な美術館と違うところは。身体障害者療護施設の中に作られており、展示品のほとんどは施設の廊下の壁に展示されています。



開館時刻となったので、運動公園隣の美術館に入ります。



まずは、美術館の紹介ビデオを見ます。



苑長自らが、絵の説明をしてくださいました。

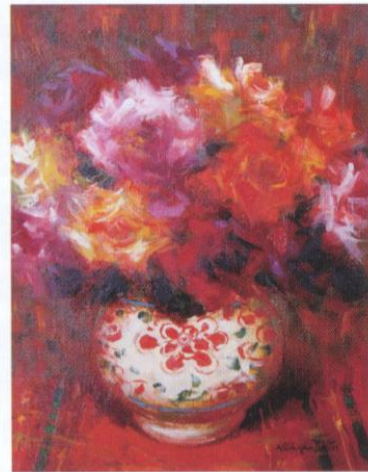
展示品は、洋画、日本画で現在活躍している画家の絵が多く展示されています。一部を以下に紹介します。



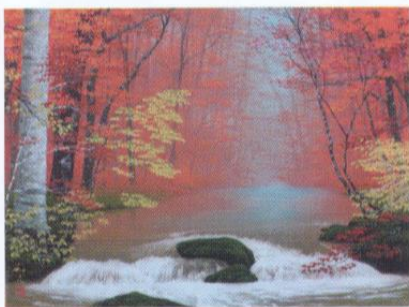
小松崎邦雄 [黒扇の踊子]F8号



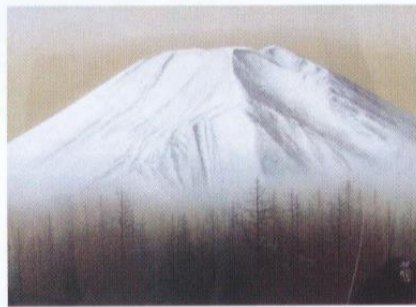
中山忠彦 [燭台のある部屋] F10号



山本彪一 [薔薇] F6号



二川和之 [奥入瀬] F12号



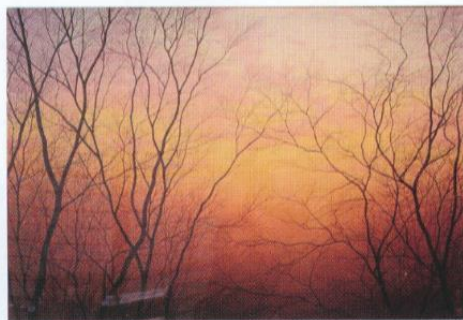
清水 規 [富岳] F20号



松尾敏男 [富貴花] F6号



佐々木祐而 [黎明上高地] F20号



中村宗弘 [残暉] F50号



湯口絵美子 [薔薇の交響曲] P100号

約2時間、苑長の熱心な説明をいただき、じっくりと鑑賞させていただきました。
美術館の前で集合写真を撮り散会いたしました。

